

しましゆく 議会だより

第255号

令和7年8月1日(2025年)



- 町民の声を行政に 「議会と語る会」開催 横川・湯原会場 P 2 ~ P 3
- 令和7年 第2回定例会・第2回臨時会開催 P 4 ~ P 6
- 令和7年第1回定例会以降の議会・議長の動向 P 7
- そこが知りたい議会運営 P 8
- 一般質問 議員が町民の思いを届ける
 - 高橋きく子議員「地域の風土を継承した郷土愛を育む政策を」 P 9
 - 高橋 浩之議員「人口推移や環境に配慮した町づくりを」 P 10
 - 渡部 英幸議員「物価高騰への偏りや忖度のない行政対応を」 P 11
- クローズアップ 村上 満さん「渡瀬熊野神社の云われある御神輿」 P 12

今月の表紙は七ヶ宿ダム公園グラウンドゴルフ場にて
「町長杯グラウンドゴルフ大会」に向けて猛練習中!! みなさん元気いっぱいです。

「議会と語る会」を

横川・湯原地区で行いました。

5月15日 会場 横川集落センター

5月16日 会場 湯原コミュニティセンター

各会場での質疑（抜粋）内容

問 3月の予算特別委員会で一般会計予算が否決された理由とは。

答 議会だより254号の「予算特別委員会の背景」に記載していますが、スキー場指定管理料や物価高騰支援・やまびこの森キャンプ場の浴室改修や町内就労者確保などへの政治姿勢が主な理由となっています。

問 議会での質疑討論が何故なかったのか。

答 委員会は議員8名全員で構成しているため、議会先例により委員長報告に対する質疑はしていません。また、討論は事前通告制となっており、当日の午前9時までに討論の申し出が必要となっています。

問 予算特別委員会などの傍聴はできないのか。

答 定例会同様に各委員会の傍聴はできません。

問 「物価高騰支援金」の算定内容が売り上げ実績に応じた支援となっていたが問題があったのではないか。

答 国への問い合わせの下で実施されたが、今後は同様の算定方法はとらないとの考えが町から示されています。

問 まちづくり株式会社は町のためにはなっていると思うが、町全体の予算のバランスから見ると、民間企業のやり方や考え方と比較し、議会はどのように見ているのか。

答 町全体の予算配分から見るといささか偏っていると思われる。貴重な意見として持ち帰り、対応を協議します。

問 湯原などの豪雪地区に作業能力の大きい除雪機の整備や特別な補助制度があってもよいのではないか。

答 人口が減少し高齢化している背景から、豪雪地域への行政支援は必要と思われるので、持ち帰り議会としての対応を協議します。

問 個人的に空き家を購入して移住された方がいるが、行政支援があってもよいのではないか。

答 移住政策としては空き家の改修や修繕への支援があります。

問 学校検討委員会の構成メンバーは、子ども保護者・学校教員・教育委員・地区住民・町職員・その他町長が必要と認めた方で構成される。すでに4回の話し合いが行われています。

参加頂いた方にアンケート調査で下記のような回答をいただきました。

- 町の経済的行政支援や空き家対策は、各地区で重要視されている。
- 町内の医療体制や子育て支援の体制は充実している。
- 農林業関係の対策については、やや不満に感じている。

「議会と語る会」の次回開催について

11月上旬に滑津地区・関地区にて開催を予定しております。会社組織の方や各団体、小規模サークルなどとの懇談会の開催も計画しておりますので各議員や議会事務局までご連絡をお待ちしております。



▲会場 湯原コミュニティセンター 8名参加



▲会場 横川集落センター 5名参加

主な案件

- ◆ 報告1件
- ◆ 専決処分3件
- ◆ 条例の改正2件
- ◆ 令和7年度一般会計補正予算（第1号）



◆ 専決処分

- ◆ 令和6年度七ヶ宿町一般会計補正予算（第7号）
- ◆ 七ヶ宿町税条例の一部を改正する条例
- ◆ 七ヶ宿町国民健康保険条例の一部を改正する条例

◆ 条例の改正

- ◆ 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- ◆ 七ヶ宿町特定公共賃貸住宅条例の一部改正について

問 渡部 英幸 議員

特定公共賃貸住宅売り渡しの条件と価格の算定方式は、

答 農林建設課長

譲渡基準は住宅建設後20年を経過していることで、その住居に10年以上居住している、且つ、譲渡後も5年以上居住する意図があること。価格については、土地家屋調査士が算定して決めている。

問 高橋 浩之 議員

住宅が破損している場合は修理してから譲渡するのか。

答 農林建設課長

他の町営住宅と同様に町で管理修繕している。現状のまま査定した金額で譲渡になる。



▲湯原地区 特定公共賃貸住宅

【主な歳入】（概略）

◆ 物価高騰対応重点交付金 161万円

【主な歳出】（概略）

◆ 物価高騰対支援商品券 373万円

令和7年度
一般会計補正予算（第1号）

【主な歳入】（概略）

- ◆ 定額減税補足給付金 188万円
- ◆ 諸収入 455万円

【主な歳出】（概略）

- ◆ コミュニティ助成金 230万円
- ◆ 雪害分ワイヤーメッシュ等備品購入 225万円



▲雪害等により倒れた鳥獣害防止柵、早い復旧が望まれる。写真は峠田地区

問 五十嵐 敏夫 議員

コミュニティ助成金対象地区と備品購入内容は。

答 公民館長

対象は湯原地区で購入内容は、祭りやぐら、紅白幕・ブルーヒーターなどとなっている。

問 五十嵐 敏夫 議員

ワイヤーメッシュ柵被害地区と被害延長は。また、撤去交換は誰が行うのか。

答 農林建設課長

長老地区252m、峠田地区594m、湯原地区630mで合計1476mである。災害共済金で備品を購入し交換作業は耕作者と地区で協議する。

令和7年 第2回臨時会

（7月7日）

令和7年度

一般会計補正予算（第2号）

160万円追加

問 渡部 英幸 議員

特定公共賃貸住宅売り渡しの条件と価格の算定方式は、

答 農林建設課長

譲渡基準は住宅建設後20年を経過していることで、その住居に10年以上居住している、且つ、譲渡後も5年以上居住する意図があること。価格については、土地家屋調査士が算定して決めている。

問 高橋 浩之 議員

住宅が破損している場合は修理してから譲渡するのか。

答 農林建設課長

他の町営住宅と同様に町で管理修繕している。現状のまま査定した金額で譲渡になる。

【主な歳入】（概略）

◆ 物価高騰対応重点交付金 161万円

【主な歳出】（概略）

◆ 物価高騰対支援商品券 373万円

問 吉田 修 議員

低所得者世帯などに優先的な支援をすべきではないか。

答 町長

公平に配布することが効果的で、町民に納得してもらえる内容と考えた。

問 渡部 英幸 議員

商品券では無く現金の給付は考えなかったのか。

答 町長

町内の消費を活性化させるなど、経済効果を考え商品券の配布を行う。

問 五十嵐 敏夫 議員

補助交付金の金額と配布時期と配布方法は。

答 町長

一人3千円の商品券とし、7月中にゆうパックで配布を予定している。

令和7年 第1回定例会以降の議会・議長の動向

月日	場所	会議・行事等名	出席者
3月19日	七ヶ宿小学校	七ヶ宿小学校卒業式	議員全員
3月22日	関保育所	関保育所修了式	五十嵐議員
3月26日	事務局	広報特別委員会	広報委員
3月26日	大河原町	仙南地域広域行政事務組合臨時議会	議長・渡部議員
3月27日	活性化センター	森林組合通常総会	議長
4月1日	議長室・事務局	辞令交付式・全員協議会・広報委員会	議員全員
4月2日	第3会議室	教職員宣誓式	議長
4月4日	町内	水芭蕉オープン式	議長
4月5日	保育所	関保育所開所式・入所式	議長・外
4月5日	岩沼市	西村明宏後援会	議長
4月6日	柴田町	船岡駐屯地65周年記念行事	議長
4月8日	町内	七ヶ宿小学校・七ヶ宿中学校入学式	議員全員
4月8日	事務局	広報特別委員会	広報委員
4月10日	蔵王町	蔵王町町政施行70周年記念式典	議長
4月13日	西山学院	西山学院高等学校入学式	議長・外
4月17日	開発センター	白石地区交通安全協会七ヶ宿支部定期総会	議長
4月18日	事務局	広報特別委員会	広報委員
4月22日	事務局	全員協議会・広報特別委員会・議会と語る会実行委員会	議員全員・広報委員
4月23日	開発センター	酪農組合総会	議長
4月23日	開発センター	認定農業者連絡協議会総会	議長
4月25日	蔵王町	エコライン開通式	副議長
5月9日	大河原町	仙南亘理地方町村議会議長会	議長
5月12日	開発センター	町観光協会通常総会	議長
5月13日	仙台市	県町村議会議長会正副会長・監事合同会議	議長
5月15日	第3会議室	宮城県議会鳥獣被害対策調査特別委員会視察対応	議長
5月15日	町内横川地区	「議会と語る会」実施 横川集落センター	議員全員
5月16日	町内湯原地区	「議会と語る会」実施 湯原コミュニティセンター	議員全員
5月18日	仙台市	和田政宗 国政報告会	副議長
5月19日	仙台市	桜井充 国政報告会	議長
5月19日	開発センター	商工会通常総会	議長
5月21日	仙台市	宮城県町村議会議長会臨時総会	議長
5月25日	町内	不忘平和記念公園開園10周年記念式典	議長 外
5月27日	東京都	全国町村議会議長・副議長研修会	正副議長
5月28日	第3会議室	議会運営委員会・全員協議会	議員全員
5月29日	開発センター	町体育協会総会	議長
5月30日	開発センター	ライスファーム七ヶ宿通常総会	議長

議案の審議結果

【表の見方】 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 早:早退 議:議長 退:退席 除:除斥 投:投票 ※議長は採決に変わりません

議案番号	議案内容	議決月日	結果	議員名								掲載頁	
				1 高橋 浩之	2 高橋 きく子	3 渡部 英幸	4 五十嵐 敏夫	5 吉田 修	6 高橋 茂美	7 今野 三喜男	8 菅原 研治		
令和7年第2回定例会													
議案第30号	専決処分（令和6年度七ヶ宿町一般会計補正予算（第7号））	6月6日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P4
議案第31号	専決処分（七ヶ宿町町税条例の一部を改正する条例）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
議案第32号	専決処分（七ヶ宿町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
議案第33号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	〃	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
議案第34号	七ヶ宿町特定公共賃貸条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
議案第35号	令和7年度 七ヶ宿町一般会計補正予算（第1号）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P5
令和7年第2回臨時会													
議案第36号	令和7年度 七ヶ宿町一般会計補正予算（第2号）	7月7日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P5

国道113号線に電光掲示板が設置されました



茂ヶ沢のカーブ付近は事故が多いことから議会では、県に注意喚起の看板の設置を要望していましたが、この度、立派な電光掲示板を設置頂きました。関係者各位のご尽力に感謝申し上げます。

宮城県町村議会議長会より感謝状が授与されました



令和7年6月30日に副会長として、町議会の発展に貢献した功績により、宮城県町村議会議長会より菅原議長へ感謝状が授与されました。今後の活躍を期待します。

今月の表紙

町長杯グラウンドゴルフ大会に参加される選手の皆さんです。事前の練習会に参加し、芝の感触や玉の転がり具合の確認をしました。



6・12七ヶ宿町総合防災訓練に参加しました。

去る6月12日に関地区を会場に町の防災訓練が実施され、陸上自衛隊船岡駐屯地からも参加をいただき多くの町民参加のもと、避難者の搬送訓練や炊き出し訓練など、本番さながらに行われました。

町議会としても「七ヶ宿町議会災害対策本部設置要綱（平成24年制定・施行）に従い、議会事務局内に対策本部を設置し各議員と被害状況の確認など、災害時を想定した訓練を行いました。



▲毛布を使った簡易搬送訓練



▲AED実技講習・心肺蘇生講習



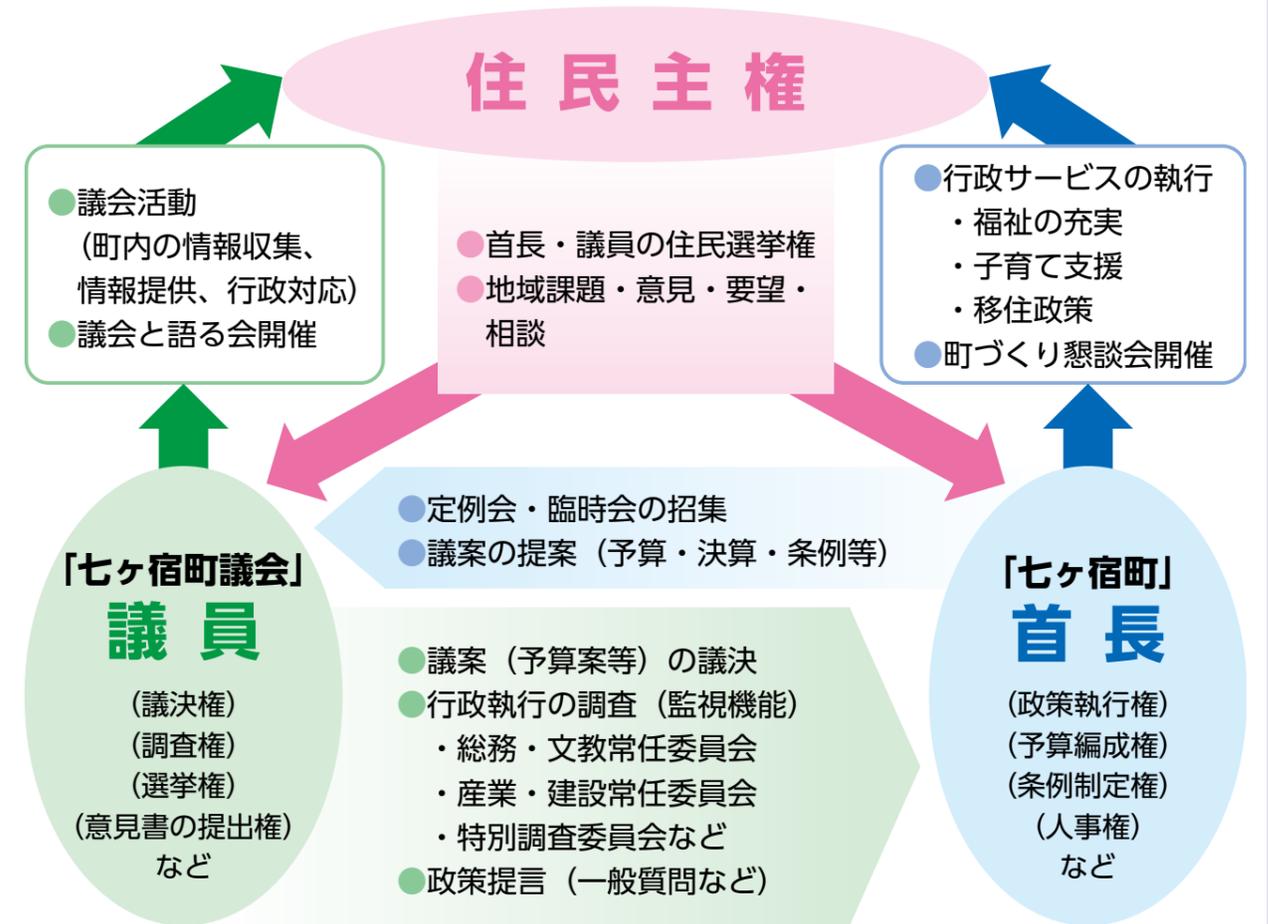
そこが知りたい議会運営



住民主権における二元代表制の役割

二元代表制とは、地方自治体において、首長*と議会議員を住民が選挙で選ぶ制度です。首長と議会是对等な立場で意見の交換を行い、時には対立しながらも地方自治の発展を共に目指します。

*首長とは地方公共団体の(市区町村や都道府県)の長を指します。七ヶ宿町の首長は町長です



たかはし きくこ 議員

問 各集落には古くから受け継がれてきた伝統や文化、史跡や名所は町や地域住民にとって大切な宝であり、次世代や後世に引き継いでいく必要性があるのではないか。

答 地域の伝統や文化などは町や地域住民にとって大切な宝であり、後世に引き継いでいく必要性がある。また、地域コミュニティも、地域住民、産業、経済、文化

問 地域の風土を継承した郷土愛を育む政策を住民交流を推進し町の文化を継承していく

の継承のうえで非常に重要と考えている。

問 高齢化し人口減少傾向にある町の現状から、地域住民の共存意識や移住者との調和を育むための政策を進める必要があるのでは。

答 地域コミュニティの維持には、七ヶ宿で暮らしてきた方々と新たな移住者やその子供たちなどが、世代を超え交流を深めていくことができる事業を「元気な地域づくり」活動を通して展開していくことが望ましい。

問 高齢者から児童生徒まで「郷土愛を育むまちづくり」につながる政策にしっかり取り組むべきではないか。



▲稲子から横川に移転安置された「六地藏尊」

問 町民体育大会やグラウンドゴルフ大会などの継続と住民交流会を推進し、町の伝統行事や食文化を含めた七ヶ宿の文化を継承するため、地域の皆様と連携していく。

答 町民体育大会やグラウンドゴルフ大会などの継続と住民交流会を推進し、町の伝統行事や食文化を含めた七ヶ宿の文化を継承するため、地域の皆様と連携していく。

問 町では小中学校の再建計画を進めているが、子供たちがこの町の貴重な文化や遺跡などに興味を持てる教育環境が必要ではないか。

答 子供たちの学校教育については地域の文化や

みなさんからの質問コーナー

■ 債務負担行為 (さいむふたんこうい) って何？

地方公共団体が複数年にわたって支出をともなう契約などを行う際に、議会の議決を経て設定されるものです。(地方自治法第214条)

※「債務」とは経費の支出義務のことです。

※「債務負担行為」とは複数年にわたる債務を負う契約を結ぶことをいいます。

例えば、公共施設の設備に関する事、町が所有する施設運営(指定管理)などが該当します。こうした事業は、町の将来に関わる大きな契約となるため、議会で慎重に審議されます。

【百〇〇チェック】

地域の歴史や文化を子供たちに幅広く体験させ、将来の担い手となる人材育成を図れるような具体的政策や、学校教育でも野外教育の一環として各地域の様々な言い伝えや史跡などを学習できるような政策が示されなかったことから、今後の新たな課題と認識しました。



たかはし ひろゆき 議員 高橋 浩之

問 日々の買い物が増え、通院タクシーを病院利用者がいなくとも買い物等に運行することは出来ないか。

答 現在、通院タクシーは中核病院方面に週3回、置賜総合病院方面に週2回運行している。病院等の受診利用に限らず買い物等の移動手段として利用いただいている。



▲R5・通院タクシー出発式

問 通院タクシーの利用者が非常に少ないようだが、広報や町から発信しているウェブ（インターネット）等で利用者の拡大を図る必要があるのではないか。

答 インターネット等での広報は高齢者にとって困難と思われるので電話で対応して頂いている。町営バスや通院タクシーを組みあわせながら利用していただきたい。

問 人口推移や環境に配慮した町づくりは

答 行政と地域が一緒になって取り組んでいく

問 物価高騰への偏りや付度のない行政対応は

答 住民対象に重点支援交付金関連事業で対応

問 町民は近年の物価高の中、特に米が買いたくても買えない現状ですが、行政としてライスセンターを無償で利用している組織に、支援を依頼し、「(仮称)七ヶ宿町物価高騰支援米として、全世帯に米一俵を配布する政策を早急に実施すべきでないか。

答 今年度のライスセンターの収穫米は販売先が決まっていると伺っている。



わたなべ ひでゆき 議員 渡部 英幸

る。また、米農家を含めて全戸に配布するのが公平性の観点から言えば馴染むのか疑問が残る。何が一番いいのか支援の在り方を各課で検討させている。

問 今年のJA仮り渡し価格を2万5千円として、600軒×2万5千円＝1500万円の財源が必要ですが、町が財政調整基金を取り崩し、担い手住宅2棟を建設しているが、1棟減額した予算を米支援に充てれば十分に足りるのではないか。町民救済に有効なので早急に実施すべきではないか。

問 まちづくり株式会社での移動販売車は買い物難民対策として有効だが、売り上げや利用者の減少など、今後の改善が必要ではないか。

答 移動販売車が利用しやすい方法を、町が会社に協議しながら運行している。

問 現在、除雪機購入に対して10万円の補助金制度や地区の除雪燃料の補助などがあるが、豪雪地帯に住む町民は高齢化も伴い、大きい除雪機の購入を検討する方もいるので、補助金の増額や地区で共有して使える大型の除雪機の購入なども必要ではないか。

答 10万円を限度額とし、除雪機の購入補助金を交付している。大型の除雪機については、目的や運営の仕方を明確にする必要がある。公平感を保つことも踏まえて整理しなければならない。

答 基本的に支出の対する収入不足の場合は対象になるが、今回のような場合、財政調整基金取り崩すのが良いかは行政として研究しなければならない。



▲米の貯蔵庫に使われる雪室

問 少量の米配布は全国でも確認されているが米一俵の配布支援を行えば、七ヶ宿町、そして源流米も全国的に有名になるので決して無駄ではないと思うが町長の考えを伺う。

問 特定公共賃貸住宅が各地区に建築されており、10年以上住んでいる方が希望すれば購入も出来るとの事だが、担い手住宅に準じた譲渡方法は出来ないのか。

答 補助を受けている建物については、補助年限があるうちの払下げは困難である。

【目次チェックシート】
今回は多岐にわたる項目について質問を行いました。いずれも各地区に暮らす住民にとって重要な課題であると考えています。

通院タクシーについては、南陽・白石方面に運行する際、病院だけでなくスーパーやホームセンターなどを經由するルートへの見直しも必要ではないでしょうか。人口減少が進む中でも、町民の皆さんや移住された方々が安心して暮らせるよう、今後も質問や提案をまいります。

答 テレビなどで米騒動の話が持ちきりだが、これがいつまで続くか分からない。支援の在り方として町民の方々に公平に何にでも使えるものの方が、嬉しいんだと思う。

【目次チェックシート】

町長は公平とよく言いますが、町民が米価の高騰で大変な思いをしている中で「米価騒動は一過性のもの。報道もいずれ落ち着く」という場当たり的な答弁に、トップとして町民の苦痛へ真摯に向き合う政治姿勢が欲しいという大変残念な思いがあった。

行政として町が設置している「ライスセンター」の利用団体などと、町民救済の観点から緊急時の備蓄米確保などの協議も必要と感じたので、多くの方から今後の課題についてお話しを伺いたいと思っています。

クローズアップ

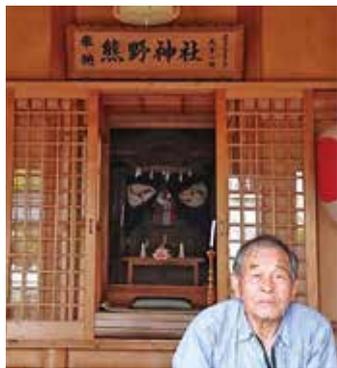
渡瀬熊野神社の云われある御神輿

私が生まれ育った渡瀬集落は、かつての戸沢村や小坂峠を経由した羽州街道の宿場として多くの旅人や出羽諸大名の行列が往来し、街道沿いの家並みにはそうした面影が多く残る集落でした。

しかし、七ヶ宿ダム建設を機に集落の全戸（50戸ほど）が解体され、ほとんどの住民が町外に移住したことから、住民交流を図りたいとの思いで熊野神社の社殿を瀬見原団地内に再建し、今日も維持に努めています。このところ高齢化や子や孫への世代交代により祭礼への参列者も激減し、この先、神社の維持管理に大きな不安を感じる日々を過ごしています。

渡瀬の熊野神社は1555年に紀州熊野山大権現を勧請したと伝わっており、大きくて荘厳な御神輿が奉納されていますが、大火災がたびたび発生したことから御神輿は社殿に安置され続け、新たな社殿でも大切に安置してまいります。

永い歴史の中で深く住民がかかわってきた集落の財産として、或いは七ヶ宿ダム湖に沈んだ集落の貴重な文化財として、後世に遺していければと願っていますので、町の文化財保護委員会などの関係機関においても、是非、ご検討頂きたいものです。



今回は関在住の村上 満さんよりお話を伺いました。



議会を傍聴してみませんか？

次回の議会は令和7年9月2日から16日の会期で、第3回定例会を開催予定です。傍聴に関してのご質問は「七ヶ宿町議会事務局」までお気軽にお問合せ下さい。

編集後記

6月定例議会の初日には、白石高等学校七ヶ宿校の3年生8名が議会傍聴に訪れましたが、多くのみなさんにも議会傍聴にお越しただけだと思います。

このところの高温の天気が続き、農作物への影響も心配されますが、体調に気をつけながら、元気に過ごせる様に願っています。

(吉田)

■議会広報特別委員会

委員長	吉田 修
副委員長	高橋 浩之
委員	五十嵐 敏夫
委員	高橋 きく子



議会だより作成のため、お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。

現在町のホームページからも議会の内容や議会だよりをご覧いただけます。

▷連絡先 七ヶ宿町議会事務局 ☎ 37-2197 FAX 37-2198

6月定例会の傍聴者は13名でした